

NL-1010

# Nippon no Uta (Vol. I)

(日本の唄)

## DARK DUCKS

HIGH FIDELITY



TEICHIKU

# 日本の唄

(第一集)

ダーク・ダックス

第一面

## 宵待草

待てどくらせど 来ぬ人を  
宵待草の やるせなさ  
今宵は月も 出ぬそいな

多竹久夢二  
亮二 作曲詩

## お江戸日本橋

お江戸日本橋 ななつだち  
はつのぼり  
行列揃えて アレワイサノサ  
こちや高輪  
夜明けて提灯消す コチャエ コチャエ

日本古謡

## 箱根の山

一、箱根の山は天下の嶮 函谷関も物ならず  
万丈の山千仞の谷 前に聳え後にさそう  
雲は山をめぐり 霧は谷をとざす  
昼なお聞き杉の並木 羊腸の小径は苔滑か  
一夫関に当るや万夫も開くなし  
天下に旅する剛毅の武士 大刀腰に足駄がけ  
八里の岩ね踏みならず 斯くこそありしか往時の武士

滝鳥井廉太郎 枕 作曲詩

二、箱根の山は天下の岨 蜀の栈道数ならず  
万丈の山千仞の谷 前に聳え後にさそう  
雲は山をめぐり 霧は谷をとざす  
昼なお聞き杉の並木 羊腸の小径は苔滑か  
一夫関に当るや万夫も開くなし  
山野に狩する剛毅の健児 狛銃肩に草鞋がけ  
八里の岩ね踏み破る 斯くこそあるなれ当時の健児

## 越後獅子

打つや太鼓の音も澄み渡り  
角兵衛 角兵衛と 招かれて  
いながらみする 石橋の  
浮世を渡る ふうがもの  
唄うも 舞うも 囃すのも  
一人旅寝の 草枕

日本古謡

おのが姿を花とみて  
庭に咲いたり 咲かせたり  
そこのおけさに いなこといわれ  
ねまり ねまらず まちあかす  
ござれ はなしましよぞ こんこまつのかげで  
松の葉のように こんこまやかに

## 秋の月

光はいつも 変らぬものよ  
ことさら秋の 月の影は  
などか人に 物思わする  
などか人に 物思わする  
あゝ 鳴く虫も 同じ心か  
あゝ 鳴く虫も 同じ心か  
あゝ 声の淋しき

滝廉太郎 作詩・作曲

第二面

## 荒城の月

一、春高樓の 花の宴  
めぐる盃 かげさして  
千代の松か枝 わけいでし  
昔の光 いまいづこ

滝井廉太郎 作曲詩

二、秋陣営の 霜の色

鳴き行く雁の 数見せて  
植うるつるぎに 照りそいし  
昔の光 いまいづこ

四、天上影は 替らねど

栄枯は移る 世の姿  
写さんとてか 今もなお  
嗚呼荒城の よわの月

## 相馬盆唄

日本民謡

一、ハアー エヨー

ぼんの十六日 二度あるならばヨ  
ハアー  
お墓まつりも コリヤ ヤレサ  
二度まいるよ

三、ハアー エヨー

踊り踊るなら 三十が盛りよ  
ハアー  
三十越ゆれば コリヤ ヤレサ  
こがおどるよ

二、ハアー エヨー

今年や豊年だよ ほにほが咲いてよ  
ハアー  
道の小草にも コリヤ ヤレサ  
米がなるよ

## あかがり

日本古謡 信時潔 作曲

あかがりふむな あとなるこ  
われも目はあり さきなるこ

(註) あかがり……あかぎれの事  
あとなるこ……後ろにいる子  
さきなるこ……先に歩いている子

## 子守唄

日本古謡

ねんねんころりよ おころりよ  
坊やはよい子だ ねんねしな  
坊やお守りは どこへ行つた  
あの山越えて 里へ行つた

里のおみやに 何貰ろた  
でんでん太鼓に しようの笛

おきあがりこぼしに 犬張りこ  
ねんねしな おころりよ

演出 関博孝



NL-1010 ¥1,000

テイテック株式会社



# TEICHIKU

MADE BY TEICHIKU COMPANY LIMITED NARA JAPAN

## 日本の唄 (第一集)

ダーク・ダックス

NL-1010

(X-5043)

Side-1

1. 宵 待 草
2. お 江 戸 日 本 橋
3. 箱 根 の 山
4. 越 後 獅 子
5. 秋 の 月

MICROGROOVE

UNBREAKABLE

LONG   PLAY

# TEICHIKU

MADE BY TEICHIKU COMPANY LIMITED NARA JAPAN

## 日本の唄 (第一集)

ダーク・ダックス

NL-1010

(X-5044)

Side-2

1. 荒 城 の 月
2. 相 馬 盆 唄
3. あ か が り
4. 子 守 唄

MICROGROOVE

UNBREAKABLE

LONG   PLAY